

家電製品の消費電力(W)はどれくらい？

★マークは長い時間使用することがあり年間で合計すると電気使用量が多くなりがちな製品です

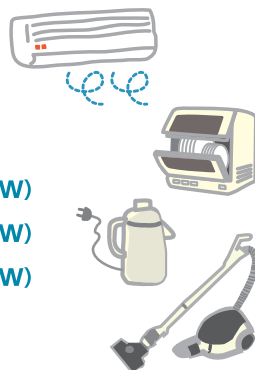
大

IHクッキングヒーター(1口)	(3000W)
電子レンジ	(1400W)
アイロン	(1400W)
ジャー炊飯器(電気炊飯器)	(1300W)
浴室乾燥機(電気式)	(1290W)
温水洗浄便座(瞬間式・使用時)★	(1200W)
ハロゲンヒーター	(1200W)

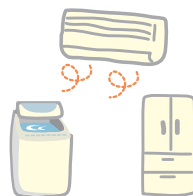


消費電力(定格)

洗濯乾燥機(乾燥時)★	(1100W)
ドライヤー	(1000W)
オーブントースター	(1000W)
掃除機	(1000W)
電気ヒーター	(800~1000W)
電気カーペット	(760~1000W)
エアコン(10~15畳)	(750~1100W)
食器洗い乾燥機	(900W)
電気ポット(沸騰時)	(800W)



温水洗浄便座(貯湯式・使用時)★	(500W)
エアコン(6畳用)	(450W)
洗濯機	(400W)
オイルヒーター	(360~1500W)
冷蔵庫★	(200~300W)



蛍光灯照明★	(100W)
液晶テレビ	(50W)
パソコン	(45W)
扇風機	(34W)
電球形蛍光灯★	(12W)
LED電球★	(8W)

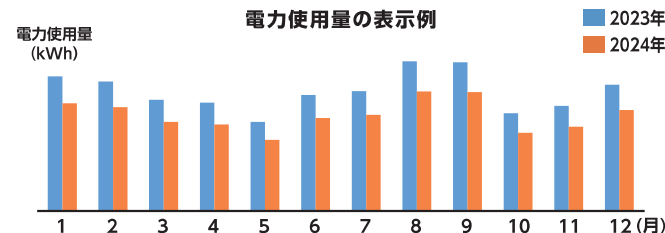


これは定格消費電力の一例であり、実際の使用時の消費電力は製品の種類、使用方法等により異なります。
出典：資源エネルギー庁調べ

“見える化”のすすめ

近年では、電気の使用量が30分ごとに計測・記録でき、通信機能がついた電力計(スマートメーター)がほとんどの家庭に設置されています。契約している電力会社のウェブサイト等で、電気の使用量を確認してみましょう！

※契約先の電力会社により確認方法は異なります。



契約アンペアの見直し

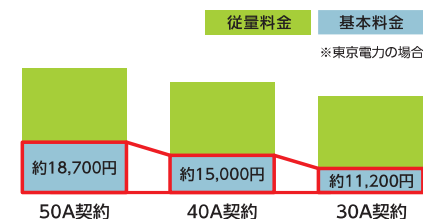
現在の電力使用量と、過去の電力使用量を比較し、電気使用量が以前と比べ大幅に減少している場合、契約アンペアの見直しを検討してみましょう。

例えば、家族構成の変化(世帯人数の減少)や、省エネ家電への買い替えをしたご家庭で、契約アンペアを新築時や当初契約から見直していない場合、契約アンペアを下げられる可能性があります。

家電の同時使用を抑えることでも、契約アンペアを下げられる可能性があります。電力需要のピークカットにも貢献できます。

なお、契約アンペアの変更は、ご契約の電力会社への申込でできます。10Aから60Aの範囲のアンペアブレーカー切替工事等は原則として無料ですが、契約内容や電気設備の状況によっては、電気工事店による有料の工事が必要となることがあります。また、集合住宅では、所有者や管理人の承認が必要な場合があります。

節約代のイメージ



50Aから40Aに ⇒ 年間:約3,700円節約
// 30Aに ⇒ 年間:約7,500円節約

電力使用の時間帯を意識しよう

電力ひっ迫の恐れがあるとき等は、アイロンなど消費電力が大きい家電の使用を抑えることや、電化製品を使用する時間をずらすなどの電力の効率的な使用が大切です。

国からの電力需給ひっ迫警報又は注意報の発令時などは、電力使用の時間帯を意識する取組を実施しましょう。

